生物安全実践講習会

第 2 回実践コース B　実施・募集概要

日時：　令和 5(2023)年 5 月 17 日(水) ～　18 日(木)　各日 9:00～17:00

会場：　医療研修施設「ニプロ iMEP」
　滋賀県草津市野路町 3023 番地
　　※アクセス：JR 南草津駅より徒歩 3 分

対象者：病原体を能動的に取り扱うための知識を必要とされる方
　バイオセーフティ実験施設、保健所・検疫所・医療関係施設、
　大学等の研究施設に従事される方、またはその管理監督者

受講料：1 名 35,000 円　講習会終了後、受講者全員に修了証を授与致します

資格認定：試験合格者のうち希望者に“生物安全技能士”認定証を授与致します（認定料 20,000 円）

募集定員：32 名　（感染対策のため大収容の会場にて開催致します）

募集締切：2023 年 5 月 8 日（月）　※但し定員に達し次第募集終了となります

申込方法：生物安全実践講習会ホームページ↓の「講習会」ページの申し込みリンクより受付けます
　＜https://biossafetyforum.wixsite.com/seibutuanzen＞

事務局：　生物安全実践講習会 事務局　　担当 清水雅俊（ kinousui-zaidan@fwf.or.jp ）

―プログラム―

（一部変更となる可能性があります）

	区分		科目	演者/講師/スタッフ
1日目	ガイダンス		生物安全講習会概要	堀田 国元　機能水研究振興財団
	座学1		感染制御概論	藤田 直久　京都府保健環境研究所長
	座学2		ウイルス感染とその制御法	松浦 善治　大阪大学感染症総合教育研究拠点長
	座学3		病原体の消毒・殺菌および滅菌	堀田 国元　機能水研究振興財団
	特別講演		生物安全に関わる 今知っておくべき新知識・新情報 ―物としての病原体の理解―	小柳 義夫先生　京都大学 国際高等教育院 副教育院長 元ウイルス・再生医科学研究所長
	座学4		One Health からみた動物および 環境由来薬剤耐性菌の現状と課題	田村　豊　酪農学園大学名誉教授
	座学5		医薬品製造における安全性と GMP	佐々木次雄　元国立感染症研究所
	座学6		遺伝子組換え生物等の利用と安全性	辻井 栄作　京都大学研究推進部研究規範マネジメント室
	座学7		遺伝子関連検査と安全対策	林　邦彦　(株)池田理化/PCR 感染症検査研究会
2日目	実習1　講義･実習		病原体漏洩時の対応	伊木 繁雄　国立感染症研究所 鹿住 祐子　ルイ・パストゥール医学研究センター 霜島 正浩　(株)スギヤマゲン
	実習 2　講義･実習		病原体の輸送 –梱包と表示及び規則–	
	実習3	講義 1	安全キャビネット(BSC)の構造と機能	関口勝美　(株)アルバーネット代表
		講義 2	BSC の使用(基本操作)	吉澤重克　元千葉県家畜衛生研究所
		講義 3	個人防護具(PPE)の着脱	アゼアス(株)
		実習 1	BSC 構造(HEPA フィルタ他)	関口勝美　(株)アルバーネット代表
		実習 2	BSC 構造(スモークテスト他)	越川和彦　(株)アルバーネット
		実習 3	BSC 構造(ゾーニング他)	吉澤重克　元千葉県家畜衛生研究所
	総合討論		質疑応答	
	試験		理解度テスト 兼 資格認定試験	

生物安全実践講習会

感染症のスペシャリストから学ぶ
今知っておくべき正しい感染症対策

この講習会は生物安全・危機管理対策の一環として、令和２年２月より新たに開講致しました。法令を含め、病原体の基礎知識と取扱い技術、感染予防のための衛生管理、感染症発生時の危機管理等に関して、コース別に内容を分けて座学と実習を行います。講師は、感染症に対して豊富な知識と経験を持つ国公立研究機関の出身者、大学の教授陣や現役の実務者が担当します。

基盤コース座学風景

基盤コース 実習風景

感染症予防のための衛生管理の基礎となる手洗い方法や正しいマスク装着、病原体・感染対策に関する基礎知識から、医薬品製造・遺伝子検査の安全対策や病原体の輸送、安全キャビネットの使用といった専門的な知識など、４つのコース毎に生物安全に関わる重要な知識・技術を学ぶことができます。

実践コースＢ実習風景

実践コースＢ実習風景

主催者

公益財団法人
ルイ・パストゥール医学研究センター
http://www.louis-pasteur.or.jp/

一般財団法人
機能水研究振興財団
http://www.fwf.or.jp/

講習会 概要

コース構成

1. 基盤コース　：病原体基盤知識必要者（一般的な衛生管理に関わる従事者）
2. 実践コース A：受動的病原体取扱者（医療・歯科施設、介護施設、食品製造施設、関係行政機関などの従事者）
3. 実践コース B：能動的病原体取扱者（病原体取扱実験施設、医療関係施設、大学などの従事者）
4. 特別コース　：生物安全に関わる特別事案関係者（病原体運搬、輸入感染症、施設内感染制御などの従事者）

プログラム構成

講習会は座学・特別講演・実習・理解度兼資格認定試験で構成され、コース毎に時間や内容が異なります。

資格認定制度

・資格認定試験合格者の社会的信用を保証することを目的として、下記の技能士資格認定をいたします。
ただし、有料（認定料：2 万円）です。

・技能士取得者には認定証及び認定カードを交付いたします

① 基盤コース　：第一種生物安全技能士
② 実践コース A　：第二種生物安全技能士
③ 実践コース B　：第三種生物安全技能士
④ 特別コース　：第四種生物安全技能士

①第一種生物安全技能士

②第二種生物安全技能士

③第三種生物安全技能士

④第四種生物安全技能士

・技能士取得者には知識の維持向上を継続的に支援いたします

① 生物安全に関する情報の発信をいたします
② 主催者が発行する定期刊行物を配信いたします
③ 生物安全に関する質問・相談に対し然るべき専門家が対応いたします
④ 資格認定者同士でディスカッションできるネットワークを活用できます

・特典として

① 他コース受講の際に特別料金にて受講できます
② 主催者が開催する学会・講演会等の案内及び会員価格での参加を受けられます

生物全実践講習会「運営・専門委員会委員」

吉川敏一	(公財)ルイ・パストゥール医学研究センター理事長
堀田国元	(一財)機能水研究振興財団理事長
岩澤篤郎	東京医療保健大学教授
鹿住祐子	元結核予防会結核研究所 抗酸菌部結核菌情報科
菊地憲次	(公財)ルイ・パストゥール医学研究センター主席研究員
木ノ本雅通	元国立感染症研究所 細菌・血液製剤部主任研究官
才原康弘	(公財)ルイ・パストゥール医学研究センター研究員
佐々木次雄	元国立感染症研究所 細菌第二部室長
佐藤勉	東海大学医学部教授
霜島正浩	(株)スギヤマゲン 学術室 開発室室長
関口勝美	(株)アルバーネット代表取締役 高度 BSL 施設管理技術指導者
辻井栄作	京都大学 研究推進部 研究倫理・安全推進室
中野隆史	大阪医科薬科大学医学部教授
花木秀明	北里大学大村智記念研究所感染症制御研究センター長
林邦彦	(株)池田理化 営業本部遺伝子関連検査技術部アドバイザー
藤原功一	(公財)ルイ・パストゥール医学研究センター研究員
本間茂	ATP・迅速検査研究会
八木澤守正	北里大学大村智記念研究所感染症制御センター客員教授
吉澤重克	元千葉県家畜衛生研究所主幹

実践コース B

実践コース B は 2 日間講習で、基本的に 1 日目は座学と特別講演、2 日目は座学と実習、総合討論、理解度試験から構成されます。講習会を通じて、能動的に病原体を取り扱うための知識や取扱い方法など、病原体の感染防止対策に不可欠の実践的な知識と技術を学ぶことができます。

座学風景

座学と実習の講師は、国立感染症研究所出身者や現役の実務者、大学の教授陣などの感染制御について幅広い知識と経験のある専門家に務めていただきます。

実習の様子

病原体の梱包

個人防護具の着脱

安全キャビネットの構造・点検・使用法

実習は、病原体の輸送・梱包、個人防護具（PPE）の着脱、安全キャビネットの構造・点検・使用方法などについて、実際に使用する機材を用いて行います。